



すぎのこつうしん

平成26年 11月号
古川東町カトリック保育園

『ありがとう』という感謝の心を育みましょう

最近、夕方の片付けの時によく保育園で流す音楽があります。吉田山田の『日々』という曲です。おじいさんとおばあさんの夫婦のことを歌った曲ですが、歌詞の中に

“子どもの頃のように「ありがとう」が伝えられない”

“伝えなくちゃ大切な気持ち「いつも毎日本当に・・・」”というところがあります。喜びも悲しみも一緒に過ごして来ただけに、なかなか恥かしくて面と向かって感謝の気持ちを伝えられない。とつても大事なことだと分かっているのに言えない。でも言わないと伝わらないんですね。夫婦の間だけではなく、親子の間でも必要なことです。いつも子どもに対してお父さんお母さんは、

たくさん笑顔をお手伝いしてくれてありがとう！

たくさん感動をお手伝いしてくれてありがとう！

そう思っていないですか？！

今月はそんな感謝の気持ちを子ども達のように素直に言葉にしてみましょう。

日本人は相手を思いやる「おもてなし」の心を持っています。その「おもてなし」の心を日本人は“あたりまえ”と謙虚に思いながら実行しています。してもらった側からすれば決して“あたりまえ”ではなく心から嬉しいことです。嬉しくて「ありがとう」と言葉にします。「ありがとう」と言われたら、“あたりまえ”と思っていた行為でも嬉しくなります。

保育園でこんな場面がありました。開園記念日の時、お祝いのお菓子をもらおうと帰り際に園長室のドアをノックして「園長先生 お菓子ありがとうございます」と御礼を言いに来てくれました。とてもすばらしい心を持っている子ども達だなあと嬉しくなります。

さあ、今日から子ども達と一緒に「ありがとう」を言葉にしましょう！

〈 園長 平野 義子 記 〉

今月の行事予定

4日(火) 静修の日(3~5歳児)

12日(水) 破牙神ライザー龍ショー

21日(金) 誕生会

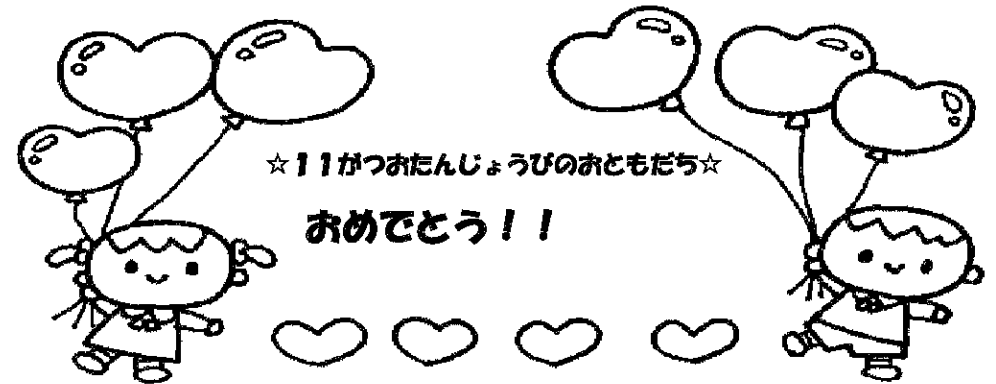
?日 避難訓練

6日(木) 第三小学校 体験学習

14日(金) 七五三の集い

25日(火) 聖劇全体練習 10:10~

※10日~17日まで 看護実習生が来ます。宜しくお願いします。



☆11がつおたんじょうびのおともだち☆

おめでとう!!

お父さん・お母さんから

もうすぐ小学生になる〇〇〇へ。

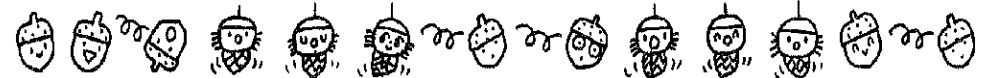
〇〇〇は、良くいえば「やんちゃ」で……。いつもお迎えの時にどんな報告をうけるのか、ハラハラしていました。「今日はカーテンにぶらさがって、カーテンレールごと落としました。」は、目がテンだったのを覚えています。何をしても、考えるより最初に体が動いてしまう事でいっぱい失敗をしました。

そんな〇〇〇が今年の運動会前日、「上手に出来たら泣いても良いからね。」と言ってくれました。その言葉だけで十分うれしかったけど、一生懸命走ったり動いている姿には本当に感動しました。

こんなふうに少しずつお兄さんになってきたのも先生方やお友達のおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

保育園で過ごす時間はあと少しですが泣いたり笑ったり、いっぱい思いで作ってね。

<ひつじ組 〇〇〇 〇〇〇くんのお母さん>



☆「ありがとう」という感謝の心を育みましょう☆

「ありがとう」という言葉は日常の中でよく聞かれる何気ない言葉ですが、相手に感謝の気持ちを伝えるとても大切な一言です。子どもたちにも友だちが玩具を貸してくれた時、困っていて助けられた時など何かをしてもらった時は「ありがとう」と相手に言葉で伝えることを知らせています。

保育士の手伝いを良くしてくれる子どもたち。そんな子どもたちに「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えるとニヤッと嬉しそうな笑顔を見せてくれます。「ありがとう」のその一言だけで相手が笑顔になれるなんて、魔法のような言葉ですね。便利なものが増え、人と人同士が助け合うということが昔よりも少なくなってきたと思います。子どもたち、そして私自身も「ありがとう」をたくさん言える人になりたいです。

<こねこ組担任 三浦 史織>



クラスだより

☆ばんび組 (0歳児) ☆

〈ねらい〉

- ・「ありがとう」という気持ちを動作や言葉で表す
- ・さまざまなものに興味が生え、探索活動を楽しむ。

〈家庭連携〉

- ・何かをもらった時、やさしさに触れた時に一緒に頭を下げて笑顔で「ありがとう」を伝えていきましょう！
- ・周囲にある色々な物に興味を示すようになって「これは〇〇だよ」とその物について知らせつつ、危険な物は周りに置かないようにしましょう。

☆ひよこ組 (1歳児) ☆

〈ねらい〉

- ・「ありがとう」という気持ちを持ち、言葉や動作で表す。
- ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。

〈家庭連携〉

- ・毎日の生活の中で感謝の気持ちを言葉にすることで子ども自身が嬉しさを感じ「ありがとう」「どうも」と言葉や動作で表せるようにしましょう。
- ・自分でしようとする意欲を大切に、見守ったり必要に応じて手を添えて知らせましょう。

☆ことり組 (2歳児) ☆

〈ねらい〉

- ・保育士、友だちとのやりとりの中で「ありがとう」という気持ちを表す。
- ・身の回りのことを一人でしようとする。

〈家庭連携〉

- ・日常の中で「ありがとう」と言葉に出す機会を増やしていきましょう。
- ・家庭の中でも身の回りのことは自分で行うように見守り、上手にできた時にはたくさん褒めてあげましょう。

☆こねこ組 (3歳児) ☆

〈ねらい〉

- ・いろいろな恵みに気づき、感謝の気持ちを表現する。
- ・遊びの中でイメージを持ちながら表現することを楽しむ。

〈家庭連携〉

- ・家庭でも「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたり、言葉で表せるよう知らせていきましょう。
- ・風邪などが流行してくる時期なので家庭でも予防のために手洗い、うがいを行うようにしましょう。

☆うさぎ組 (4歳児) ☆

〈ねらい〉

- ・様々な恵みに対し「ありがとう」と感謝の気持ちを表す。
- ・絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き想像する楽しさを味わう。

〈家庭連携〉

- ・人々や物などすべての物に感謝し、嬉しい気持ちや助けてもらった時など素直に「ありがとう」と言葉で表せるようにしていきましょう。
- ・抱っこしたり傍で読んだり親子の関わりを深めながら絵本を楽しめるような環境を作りましょう

☆ひつじ組 (5歳児) ☆

〈ねらい〉

- ・人、事象、自然等様々な恵み、行いに感謝し、心から「ありがとう」と言える。
- ・自分で考えて判断したり解決しようとする力が身に付き、他人の役に立つ喜びを知る。

〈家庭連携〉

- ・様々な恵みに対して、心から「ありがとう」と表せるよう、お父さんお母さんが見本となって知らせましょう。
- ・お子さんの言葉に耳を傾け、話を聞くように心掛けましょう。また、きちんと話をすることで、お子さんが納得できるようにしましょう。

◎給食室より

「いただきます」「ごちそうさま」の意味を知っていますか？

いただきます→食材を頂くことに感謝する気持ちを表しています。

ごちそうさま→食材を調達し、料理を作るために走りまわって用意してくれた人へ感謝する気持ちを表しています。

11月は「ありがとう」という感謝の心を育む月です。いただきます。ごちそうさま。どちらも感謝の気持ちを込めて大きな声で言いましょう。



♪おめぐみってなんでしょう♪

- ① おめぐみってなんでしょう イエズさまからいただいたみんなのじょうぶなそのからだ そうよそれがおめぐみよ
- ② おめぐみってなんでしょう マリアさまにまもられたみんなのきれいなそのこころ そうよそれがおめぐみよ
- ③ おめぐみってなんでしょう しゅごのてんしとごいっしょにあそぶたのしいまいくえん そうよそれがおめぐみよ



♪もみじ♪

あかいあかいもみじのは
もみじのはっぱはきれいだな
ぱっとひろげたあかちゃんのお
ててのようがかわいいな





あなたの一分間拝借！

2014年11月1日

お恵みって 何でしょう
イエズス様から いただいた
皆の丈夫 なこのからだ
そうよ それがお恵みよ！

お恵みって何でしょう
マリア様に まもられた
みんなのきれいな この心
そうよ それがお恵みよ！

11月は恵みに応える感謝の心を育み合う月です！

人は誰でも自然の恵みによって生かされているだけではなく、両親をはじめ、兄弟姉妹、友人からも多く支えを頂いて、生きている自分に気付き、感謝の気持ちをそれぞれの場で、それぞれの能力に応じて恵みを分かち合うよう招かれていることに目覚め、「感謝の心」で生きるよう努力いたしましょう。

恵みに応える姿勢、それは「ありがとう」と言う気持ちをこころとからだで表すことです。自分が健康に恵まれている時、この健康という恵みは家族や多くの人々の支えと神の慈しみ深い配慮によって与えられた賜物であり、ありがたいことだと心底思わなければならないと感じます。まさに「ありがとう」は神への感謝の叫びであり、祈りでもあるのです。ラテン語で「ありがとう」はDeo Gratias（デオ グラチアス）と言い、「神に感謝」という意味です。また、ポルトガル語では、Obligado（オブリガド）と言い、直訳すると義務という意味合いがあり、「ありがとう」と言うことは、人間として感謝しなければ人の道に反することであるという奥深さを感じさせているようです。物質文明の豊かさのうちに、あたりまえのことを失っている私たちへの警告の言葉として受け止め自重自戒したいものですね。

「ありがとう」という言葉は、神様や人様に対してだけに与える言葉ではありません。「もの」に対しても言う言葉でもあることに心の目を向けるべきだと思います。お年寄りの方が長い間使用して自分を暖めてくれた暖房器を所定のゴミ捨て場に捨てるとき、「ありがとう」と言って、ご主人と共に一礼してさりげなく去って行く姿を見て感動したことを思い出します。使い捨て文明の生き様（いきざま）が当然である世相とくらべ、天地の相異を感じずにはいられません。「ありがとう」という五つの言葉、勇気を持って家族ぐるみで言い合える家庭を目指して頑張りましょう。

ありがとう！それは、両親の膝の上から教育されるもの！
ありがとう！それは、その人の品格をあかしするもの！笑顔で明るく元気に！
ありがとう！それは、謙遜のしるし！あなたの救いのへ道！
ありがとう！それは、新しい恵みの源泉！信仰の恵み、超自然の恵みに至る道！
ありがとう！それは、神と共に生きる世界の道に通じる力！となるものです。

カトリック古川教会
司祭 川井 啓